

夢咲かせよう 立志の丘で

平成26年10月17日
No.23

後期始まる

10月16日(木)、後期始業式がありました。はじめに、3名の学年代表から次の「前期の振り返りと後期のめあて」と題して発表がありました。

「前期の振り返りと後期のめあて」

1年 田村紬寧さん

私は、後期を迎えるにあたり、前期の学習態度を振り返り、改善に取り組みたいと思います。

前期は授業中にボーっとしてしまったり、授業に集中していないことが多くありました。



後期は普段の生活から見直したいと思います。

授業中にボーっとしてしまうのは、就寝時間が遅いからだと思います。朝もなかなか起きられず、学校に着くまで眠いときも多いです。それを改善するため、早寝早起きを心がけ、時間を計画的に使うことを考えます。

授業を真面目に聞くことができないのは、自分の精神年齢の低さが関係していると思います。半年後には、二年生になり、後輩もできるの、年上らしく堂々と振る舞えるようになりたいです。

これからは、我慢することを覚え、先にやるべきことをやり、そのあとゆっくりするという生活習慣を身に付けていきたいです。そのために、一人勉強やワークなどの課題にしっかり取り組み、力を付けていけるようにし、身近なところから精神を鍛える努力をしていきたいです。

これからのことを意識して前期の学習と生活態度を改善し、前期よりもレベルアップした学校生活を送りたいです。

「前期の振り返りと後期のめあて」

2年 田口輝さん

僕の前期は、部活動に打ち込んだ毎日でした。卓球部では、団体戦三位入賞と個人全県大会出場を果たすことができました。また、駅伝部では、田沢湖駅伝



で五位に入賞し、全県大会への切符を手にすることもできました。全県大会では、五区を任せられ、二年生として、一人だけ全県大会で走るという経験をさせてもらいました。このように、部活動で嬉しいことがたくさんありましたが、学校生活の全てが上手くいったわけではありませんでした。部活動に力を入れた反面、家庭学習の取組や生活態度に気のゆるみが出てしまいました。この気のゆるみは、日々の疲れではなく自分自身の心の弱さだったように思います。

そこで、後期は自分の心の弱さに打ち克つために何事にも全力で取り組んでいくことを心がけたいです。「このぐらいでいいや。」ではなく、「もっと上へ！もっと上へ！」ということ意識していきます。

具体的には、「自分が納得のいく勉強と部活動の最高の両立」を目指していきたいと思います。

学習面では、授業中はもちろん、毎日の家庭学習に自分なりに工夫して取り組んでいきます。テストに向けてだけではなく、日頃からまとめ方や色の使い方などに気を配って、わかりやすいノートをつくることで、力をつけていきたいです。

部活動面では、一分一秒も無駄にしないように、早く活動場所に行って一球一球に全力を込めて練習をしたいです。小さな積み重ねを大切にすることで、昨日の自分よりも少しずつ成長していけるようにしたいと思います。

また、自分のもっている力を全て発揮することができるように、後期は学級委員長か副委員長のどちらかになって、学級のリーダーとしてクラスを引っ張っていきたいです。

最高の両立を目指していく中で、自分の心を鍛え、今よりもたくさん成長した「田口輝」になって三年生に進級することができるようにがんばっていきます。

結輝学年のみなさん、これまで地域や学校のためにがんばってきてくださった友輪学年のみなさんのたすきをしっかりと受け継いで、更にすばらしい西仙北中学校になるよう、学年一丸となって全力でがんばっていきましょう。

「前期の振り返りと後期の抱負」

3年 佐々木航平さん

今年の前期は走りに力を入れた時期だったと思います。郡陸上、田沢湖駅伝、全県駅伝、市町村駅伝などたくさんのお大会がありました。その中でも田沢湖駅伝がとても印象に残っています。最初の頃は、やる気がなくだらけて

いてとても全県に行けそうにありませんでした。しかし、きつい練習によって仲間と助け合いながら走る楽しさ、自己ベストを出したときの感動を知ってからは、みんな練習に真剣に取り組むようになりました。本番では一人一人が次の走者に一分一秒でもは



やくたすきを渡そうとみんな一生懸命走り、全県出場を決めることができました。それは仲間のおかげでもあります。いつも僕たちを支えてくれた保護者や指導して下さった先生たち、そして、いつもチームを支えてくれたマネージャーのおかげだと思います。成功の裏には、いつも支えてくれる人がいること、その人たちに感謝の気持ちを忘れずにこれからがんばっていきたいと思います。

そして後期には越えなければならない受験という壁があります。受験は、毎日の積み重ねが大事です。しかし、間違いをどれだけ練習しても意味がないので、わからないことは、しっかり先生に聞いたり友達のノートを参考にし、いいノート作りをして、自分の実になる勉強をしていきたいです。

私は陸上で一秒でもはやくするために、毎日走り込みました。それは、勉強にも言えることだと思います。1点でも多く点数を上げるために、毎日勉強をがんばりたいと思います。

私は部活動を通して、たくさんの事を学びました。野球では、あいさつはしっかりと止まってすること、何事も積極的にやること、どれもあたり前のようなのですが、実際はなかなかできません。監督の泉先生は「あたりまえのことをあたりまえにできる人になろう」と、いつもおっしゃっていました。受験には面接があり、部活動で身に付けたあいさつや積極性が役立つはず。このように、今までががんばってきた部活動を生かし、それを糧に受験に向かって一生懸命がんばりたいです。

しかし、それよりも大切なことがあります。それは、この友輪学年で楽しい思い出をつくることです。もう行事は残り少ないですが、何気ない一日一日を大切に楽しく過ごしていきたいです。そして、卒業式を七十七人全員で笑って、迎えられたいです。

校長式辞は読み聞かせと称して、筋ジストロフィーで、人生を踏ん張っている方のお話でした。

黒森山健康マラソン大会

10月13日(月)体育の日に、標記大会が開催されました。入賞した3位までの選手を紹介します。距離は男女とも3 km です。順位、氏名、学年、タイムの順です。

◇男子

- 1位 田口 輝 (2) 9分21秒
- 2位 高橋大晴 (2) 9分45秒
- 3位 高橋和博 (2) 9分51秒

◇女子

- 1位 斎藤菜摘 (2) 10分36秒
- 2位 高橋奏子 (2) 10分59秒
- 3位 田村未羽 (2) 11分16秒

第45回全県中学校ソフトテニス八郎潟大会兼第28回ヨネックス杯全県中学校ソフトテニス大会 6位

10月13日(月)、標記大会が八郎潟で開催されました。昨年度優勝して、優勝旗を返還した女子ソフトテニス部は6位でした。結果をお知らせします。

◎ 予選リーグ 2位

西仙北〇2-1●森吉

西仙北●1-2〇秋田大学附属

◎ 決勝トーナメント

1回戦 西仙北〇2-1●東雲

2回戦 西仙北●0-2〇秋田東

美郷町新人駅伝競走大会 女子準優勝、男子5位

10月15日(水)に美郷中学校の周回コースで開催された標記大会で、本校は女子準優勝、男子5位のともに入賞というすばらしい成績でした。

特に、女子の斎藤菜摘さんは収納伝達の会で次のように話してくれました。

「田沢湖駅伝大会の悔しい思いを晴らすことができた。この栄光は、田沢湖駅伝に向かって、夏の練習で私たち下級生を引っ張ってくれた3年生の佐々木聖南さん、マネージャーの長谷川華鈴さんの力だと思っています。ありがとうございました。」
詳細をお伝えします。

◎ 第10回美郷町中学校新人駅伝競走大会 5位

区間・氏名・学年・タイム・全体順位・区間順位の順です。男子は全て2.9kmです。

- 1区 田口輝 (2) 9分32秒 5・5
- 2区 佐藤尚哉 (2) 10分01秒 5・8
- 3区 高橋大晴 (2) 10分06秒 4・4
- 4区 高橋和博 (2) 10分20秒 4・5
- 5区 斎藤綱介 (2) 10分48秒 4・8
- 6区 豊巻辰也 (2) 10分34秒 5・8
- 合計 1時間1分16秒

◎ 第7回美郷町中学校新人女子駅伝競走大会 準優勝

女子の距離は、1区が2.9km、他は1.9kmです。男子と同じ順序でお知らせします。

- 1区 斎藤菜摘 (2) 10分41秒 4・4
- 2区 加藤みなみ(1) 06分34秒 3・2
- 3区 佐藤愛美 (1) 07分01秒 2・4
- 4区 高橋奏子 (2) 07分10秒 2・4
- 5区 京極綾香 (1) 06分56秒 2・4
- 合計 38分56秒